

BIZ SAITAMA 2024

沖電気工業株式会社
技術本部 技術企画部 技術戦略室

1. 会社概要
2. オープンイノベーションへの取り組み
3. 技術ニーズ説明

1. 会社概要

会社概要（2024年4月1日 現在）

商号	沖電気工業株式会社（Oki Electric Industry Co., Ltd.）
本社所在地	東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
創業	1881年（明治14年）
設立	1949年11月1日（昭和24年）
売上高（連結）	4,219億円 ※23年度実績
資本金	44,000百万円
従業員数	単独：4,648名 連結：14,439 名（国内：11,568人、海外：2,871人） ※2024年3月31日 現在
子会社	46社（海外19社）

1881- 1930- 1950 - 1980 - 1990 2000 - 2010 - 2024

電話の誕生 電話加入100万突破 コンピューター時代到来と普及 生活多様化とブロードバンドNWの普及 デジタル変革/IoT

1881

沖牙太郎が明工舎を創業
国産初の電話機を開発

1949

沖電気工業株式会社設立

1963

600型電話機
量産開始

1981

世界初のLED
プリンターを
開発

1996

国内初の
VoIPシステム
を発売

2004

業界初の
Microsoft.NET対応
IPテレフォニー
サーバーを
発売

2011

国内初のスマートコミュニティ向け
920MHz帯無線マルチホップ
通信システムを開発

1902

国産初の磁石式並列複式
交換機を長崎局に納入

1961

国産初のコアメモリ
を使用したコン
ピューターを発売

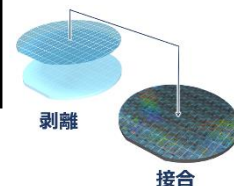
1982

世界初の紙幣還
流型ATMを発売

2002

EMS事業
を開始

2006

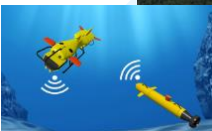
世界初、異種材
料間の薄膜接合
技術「CFB」を
実用レベルで量
産化に成功

2019

AIエッジコン
ピューター
「AE2100」
を発売

2022

大規模生産施設とし
て国内初の『ZEB』
認定工場「本庄工場
H1棟」竣工
ゼロエネルギー高感度
カメラを発売時代の先駆者として
国内通信網の整備
に貢献戦後の通信復興に尽力
官民をあげた国産コンピューター
開発プロジェクトに参画し、総合
通信メーカーとして時代をリード創業100周年を迎え、
高度情報化社会に必要な
システム・商品を
グローバルに提供独自技術をもとにニー
ズに応える商品・サー
ビスを開発、広義の社
会インフラを支える防災や減災、非接触・非対面
などの新たな社会要請に応え
る商品を創出



ETC
VICSシステム
AISION車両センシング
ゼロエネルギーゲートウェイ

道路
交通

チェックイン端末
航空管制システム
航空宇宙向け製造受託サービス
民航機コックピットディスプレイ

航空
宇宙

消防指令システム
防災システム
ゼロエネルギー水位計
遠隔相談システム

官公
自治体

各種発券システム
情報提供端末

鉄道

大規模IP電話システム
4K/8K映像配信

通信
キャリア

コンタクトセンター
会計システム
各種発券システム
現金処理システム
統合決済システム
プリンター

リテール

ATM
金融営業店システム
事務集中システム
CounterSmart
SmartCashStation

金融機関

オフィス

製造

PBX
無線LANシステム
プリンター

生産管理システム
プロジェクションアッセンブリーシステム
ハイエンドEMS
920MHz帯マルチホップ無線
ラベルプリンター
外観異常判定システム



2. オープンイノベーションへの取り組み

イノベーション・マネジメントシステム “Yume Pro”

全員参加型のイノベーション

I 経営層による文化浸透

ダイアログ/未来トーク



Yume Proフォーラム



II 社員の実践・支援

Yume Proチャレンジ



Yumeハブ



加速支援コミュニティ



III イノベーション研修

共創ワークショップ

実践研修II

実践研修I

基礎研修ワークショップ

基礎研修eラーニング

スキルアセスメント

【注力分野】

高度遠隔運用



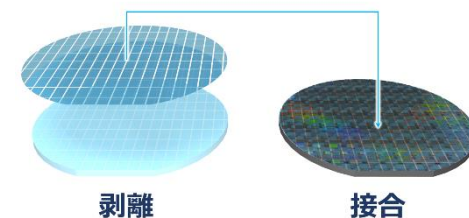
物流



ヘルスケア・医療



CFB



グローバルなオープンイノベーション活動を推進するため
 アクセラレータ大手の“米国Plug and Play社内に拠点を開設”



3.技術ニーズ説明

フレキシブルなディスプレイパネルを供給できるパートナーを募集

【技術ニーズ背景と概要】

航空機コクピットという限られた空間への設置を想定するため、フレキシブルなディスプレイパネルが必要
また故障時のリスク回避の観点から一枚のディスプレイパネルではなく、複数のディスプレイパネルの設置を想定

【想定している用途・仕様】

動作検証・試作品製造・試作検証用途（将来的には製品化・量産化）

【想定スケジュール・ビジネス規模】

スケジュール・規模に関しては要相談

【求める技術の完成度】

量産以降の実績がある物が望ましい
動作確認に使用できる試作品を有しているようであれば別途整合

【期待する技術提案の方向性】

車載用途に耐え得る性能を有した仕様カスタム可能なパネル

【留意点】

ディスプレイパネル構成部品や非フレキシブル製品は不可